

■ 都内におけるスケートボード利用の状況

- ・東京2020大会後、スケートボード人気が高まっており、区市町村や民間による様々なレベルの利用者を対象とした施設整備が進んでいる（有明アーバンスポーツパーク 7月23日より暫定利用開始）

■ 都立公園におけるスケートボード利用の現状

- ・都立公園に対しても、日頃利用している公園の中で気軽にスケートボードを楽しみたいという声がある一方、近隣への騒音や安全面などへの配慮も必要である
- ・一部の公園では、公園の実状に応じたルールを設定し、広場での利用を認めており、また、スケートボード等の専用広場として、駒沢オリンピック公園にストリートスポーツ広場を整備している

〔都立公園におけるスケートボード利用ができる広場等〕

	専用施設	広場での利用	Park-PFI
公園	駒沢オリンピック公園	武蔵野公園 小金井公園 祖師谷公園 光が丘公園	代々木公園 (整備中)
管理主体	指定管理者	指定管理者	民間事業者
対象	初級者・中級者	初級者・中級者	初級者～上級者
料金	無料	無料	調整中
イメージ	 駒沢オリンピック公園	 小金井公園	 代々木公園

※このほか夢の島公園に区が設置管理するスケートボード施設がある

※Park-PFIでは収益の一部を公園に還元

■ 今後の都立公園におけるスケートボード広場の整備

- ・都立公園では、散策や運動、レクリエーションの場など様々な利用がある中、特定用途の専用施設の整備については、慎重に検討する必要がある
- ・スケートボード人気が高まっているものの、スケートボード等を行う人の数は他のスポーツに比べ、まだ相対的に少ない
- ・現在都立公園では、一定のルールのもとでスケートボード等の利用可能な場所が複数あり、箇所数は他のスポーツと比較して遜色ない水準である
- ・一方、初心者でも安心して利用できる専用の広場は、駒沢オリンピック公園の1箇所である



都立公園の広域的利用も考慮し、都としては、駒沢オリンピック公園に加え、**多摩地域に1箇所**専用のスケートボード広場を整備する

■ 整備するスケートボード広場の条件等

- ・スケートボード利用に関する課題を考慮し、下記の通り条件等を設定する
- 【広さ・位置等】 広さ500㎡以上、騒音への配慮（住宅地からの距離）、他の公園利用や自然環境等への配慮
- 【施設内容】 初心者向け施設（フラットエリア・置き型セクションが主体）、騒音低減に配慮した舗装、広場を囲う安全柵の設置
- 【管理方法】 マナーアップ・ルール定着に資する取組を定期的にも実施、巡回・指導、混雑時の人数調整

■ スケートボード広場を整備する場所

- ・スケートボード等の専用広場の整備は、他の公園利用に支障が無いよう十分な調整が必要であるため、広さ・位置等の条件を満たす場所のうち、現在スケートボード利用を認めている場所から選定する



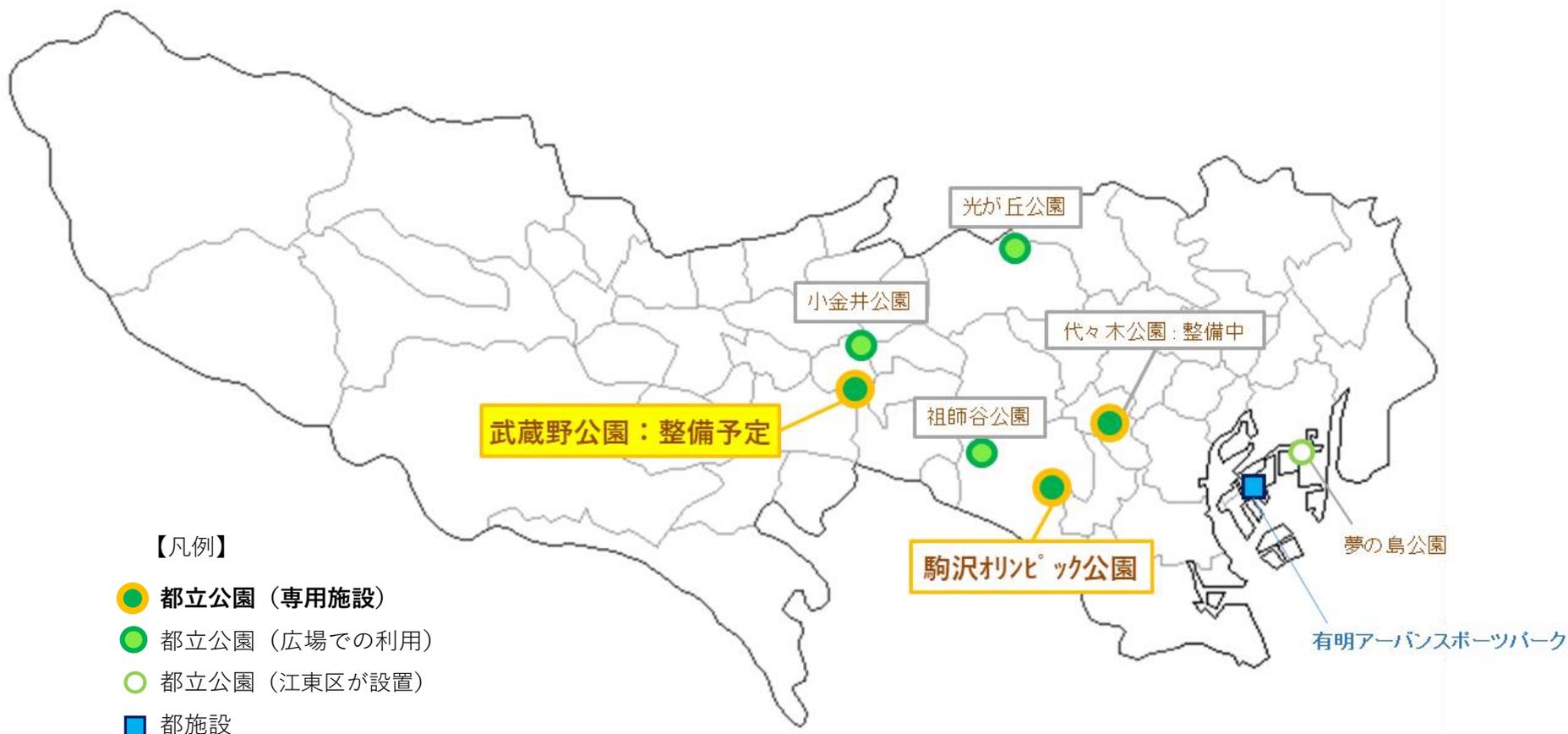
武蔵野公園（管理所前広場）
において整備する
（安全な利用環境を創出）

■ 武蔵野公園スケートボード広場の整備スケジュール

令和5年度 基本設計・実施設計

令和6年度 スケートボード広場整備

〔参考〕



■ スケートボード利用に関するその他の取組

- ・都としてスケートボード等の専用広場の整備は、当面、区部と多摩地域に1箇所ずつとする
- ・都立公園では、散策や運動、レクリエーションなど様々な利用がある中、特定用途の専用施設の整備については慎重に検討する必要があることを踏まえ、今後スケートボード等を行う人の数が相対的に増加した場合や、地域的に機運が特に高まった場合などには、前記の広さ・位置等の条件を満たす場所（下記参考表）において、設置許可制度等の活用も含めて整備を検討する
- ・既存の広場において他の公園利用と調整が可能な場合、マナーアップに資する取組等を条件に利用を検討する
- ・いずれの場合も、丁寧な説明を行うなど地域住民等の理解を求めていくことが必要である

参考表：広さ・位置等の条件を満たす場所（令和5年11月現在）

公園名	箇所名
1 亀戸中央公園	時計塔中央広場
2 中川公園	A地区自由広場
3 大島小松川公園	風の広場
4 舎人公園	A地区ドッグラン南側草地広場
5 水元公園	多目的広場東側草地広場
6 武蔵野の森公園	西町サッカー場西側
7 小金井公園	榎の木広場、テニスコート西側草地広場
8 武蔵野公園	管理所前広場周辺
9 狭山公園	風の広場（多摩湖堤防下）